

2026年6月9日

各位

会社名 株式会社 TWOSTONE&Sons
代表者名 代表取締役 CEO 河端 保志
(コード番号: 7352 東証グロース)
問合せ先 取締役 CFO 経営戦略本部長 加藤 真
(TEL. 03-6416-0057)

合同会社 Acceler Digital の AI 駆動開発プロジェクト体制強化に向けた 「Midworks」導入のお知らせ

株式会社 TWOSTONE&Sons (以下 TWOSTONE&Sons) のグループ会社である株式会社 Branding Engineer (所在地: 東京都渋谷区、代表取締役 CEO: 大島孝之、以下 Branding Engineer) は、合同会社 Acceler Digital (所在地: 東京都渋谷区、CEO: 長塩征幸、以下 Acceler Digital) に「Midworks」を導入いただいたことをご知らせいたします。

記

1. 導入の背景

Acceler Digital は、大手企業を中心にブロックチェーン・AI 等の先端技術を活用したソフトウェア開発に加え、新規事業における技術支援・開発支援、事業戦略検討を含む伴走型プロジェクト支援を展開しています。クライアントと密に連携しながら、開発実務から上流工程まで一貫して関わることで、高度な専門性が求められるプロジェクトを推進しています。

Acceler Digital は現在、これまでの大規模開発の知見を活かした独自の「AI 開発フレームワーク」の構築を推進されています。これに伴い大規模開発の構造を深く理解し、抽象的な理論を具体的な実務に落とし込める高い技術力を持つエンジニアの確保、再現性を持った開発の標準化が課題となっていました。特に、生成 AI 活用を前提とした高度な構造に対応できる人材は限られており、迅速かつ的確な体制整備の難易度が高まっていました。

こうした背景のもと、フリーランスエンジニアと企業のマッチングサービス「Midworks」を導入いただきました。「Midworks」を通じて、AI 駆動に関する理論への理解と実践経験を兼ね備えたエンジニアが参画したことで、難易度の高いフレームワーク構築および大手企業への AI 駆動開発に貢献しています。今後も Branding Engineer は、Acceler Digital のさらなる事業成長と技術力強化を支援してまいります。

2. ご担当者様からのコメント

合同会社 Acceler Digital

CEO 長塩様

(1) フリーランスエンジニア活用のきっかけ

「高度な AI 駆動開発フレームワーク構築に向けた人材確保の必要性」

Acceler Digital は、大規模なエンタープライズ開発向けの AI 駆動開発を提唱し、独自の開発フレームワーク「KARURA (※1)」を構築しています。本フレームワークはこれまで弊社で支援をした大規模開発プロ

プロジェクト（エンジニア数 50 人以上を要する規模）の経験を元に、生成 AI 活用を前提とした成果物全体のフロー、個々の成果物のテンプレート、Claude Code 等で利用する SKILLS などで構成されています。その高度な構造ゆえに、構築にはエンタープライズ開発の理論と実践の両面に持つエンジニアが不可欠でした。経験を体系的に理論へと変換し、誰しものが再現性を持った開発プロセスを標準化することが当時の喫緊の課題でした。

（2）Midworks を採用した理由

「大規模開発を理解した高度エンジニアの実装力を評価し採用」

本フレームワークの開発パートナーとして、大規模開発の構造を深く理解し、抽象的な理論を具体的なコードやテンプレート（SKILLS 等）に落とし込める高い技術力が必要だったためです。Branding Engineer 社に登録するエンジニアは、エンタープライズ開発の経験と、弊社の持つ複雑なナレッジを迅速に咀嚼し、フレームワークの機能へと昇華させる実装能力を兼ね備えていました。弊社の開発のコアとなる理論を共に形にするための「大規模開発のプロフェッショナル」として、Branding Engineer 社の Midworks を選定しました。

（3）Midworks 導入後の成果

「高難度領域での開発実績を創出し、再現性ある手法として確立」

既に証券・生命保険といった高い堅牢性が求められる金融領域の大手企業にて、本フレームワークを用いた開発実績を積み上げています。この大規模開発における再現性は、医療機器やロボティクス等の組み込み領域からも「理想に近い開発手法」として極めて高い関心を寄せられています。現在、フレームワーク自体は OSS として公開していますが、今後は Branding Engineer 社を始めとするパートナー各社との連携体制を通じ、より多くのエンタープライズ企業に対し、AI 駆動開発による圧倒的な開発スピードと品質の提供を拡大させていく方針です。

※1：KARURA については、こちらからご確認いただけます。

<https://github.com/Acceler-Digital/karura>

以 上